



休み中に読んでほしい本 第7号

成瀬高校では毎年小冊子「夏休みに読んでほしい本」を1年生の皆さんにお配りしていますが、今回、先生方の協力を得て、そこから抜粋し、新作も含めWeb版で再開の日まで定期的にお届けすることにしました。

『諦める力, 勝てないのは努力が足りないからじゃない』 為末 大 著 (小学館文庫)

この題名を見たとき、どう感じましたか？ 精一杯努力したのに、報われなかった経験はありませんか？ それは、努力が足りなかったからと決めつけていませんか？ 部活で結果が出なかった時、進路選択で悩んだ時、ぜひこの本を読んでみてください。「諦める」ことに対する価値観が変わります。

(1 学年担任, 体育科: T)

『ぼくの守る星』 神田 茜 著 (集英社文庫)

子供でも大人でも男でも女でも、誰もが心に重たい何かを抱えている。それは他人にとってはとるに足りないことかもしれないし、そのことが他人から見た自分を魅力的にしているのかもしれない。抱えたものはそれぞれ違って完全に理解し合うことはできないから、自分の悩みは自分で引き受けるしかないけれど、誰かと繋がることで心が軽くなることもある。

物語が終わっても、誰の悩みもすっきりと解決はしません。けれど少しだけ、生きることにな向きになれます。私たちもずっと悩みを抱えながら、それでも自分にだけ見える星を見つけて、生きていくのです。

(2 学年担任, 国語科: F)

『スタンド・バイ・ミー, 恐怖の四季 秋冬編』 スティーヴン・キング著 山田順子 訳 (新潮文庫)

夏に気のゆるす友達と野宿をしながら旅に出る。小さい頃に行きたかったなあ。映画もあわせて鑑賞しよう。

(教務部, 物理: K)